

報告事項①

2025年度事業報告

2025年4月1日～2026年3月31日

1 概 況

2025年度の事業計画に基づき、健全な納税者団体としての質的向上を図り、企業経営の健全な発展と申告納税制度の成果をあげることを目標に総合的な事業運営や社会貢献活動を推進していくことができた。
事業及び会議等の実施内容は以下のとおりである。

2 事 業

①税知識の普及を目的とする事業

(1)新設法人説明会

八女税務署管内に新たに設立された法人及びこれから起業しようとする人を対象に、関係する国税及び地方税の基本的な税制の仕組みについて正しく理解してもらうことを目的として、1月30日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の林陽郎氏と国税調査官の堤一輝氏に依頼した。

(2)決算税務研修会

適正な申告書が作成され提出されるようにすることを目的として、3月19日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の林陽郎氏と国税調査官の堤一輝氏に依頼した。

(3)税制改正説明会

改正法に則った誤りのない税務処理が行われるようにすることを目的として8月22日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の林陽郎氏と国税調査官の堤一輝氏に依頼した。

(4)決算実務セミナー

適正な法人税及び消費税の申告が行われることを目的として、「1日でわかる経理の実務」を9月4日に八女商工会館で開催した。講師は経営コンサルタント林忠史氏に依頼した。

(5)全国青年の集い

税制に関する調査研究や租税教室の実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、11月20日と21日に山梨県甲府市で開催された大会に青年部会正副部長他8名が参加した。

(6)租税教室

八女税務署管内に所在する小学校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、青年部会の部会員が講師を務め、6月から11月にかけて、9校10クラス407名の児童を対象に実施した。

(7)青年部会・女性部会税務研修会

税知識の普及を目的として、青年部会が10月31日に、女性部会が11月13日に、それぞれ矢部川城と八女商工会館で開催した。講師は青年部会、女性部会ともに八女税務署長の森下治氏に依頼した。

②税知識の高揚を目的とする事業

(1) 税に関する各種表彰活動

八女税務署管内の全中学校、高等学校の生徒を対象に、税に関する関心を高めることを目的として、租税教育推進協議会の一員として「税」をテーマにした作文を募集したところ中学校が327編、高等学校が979編の応募があり、八女市で11月11日に、筑後市で11月26日に表彰を行った。

八女税務署管内に所在する小学校3校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、女性部会が6月に税に関する絵はがきコンクールを開催したところ112作品の応募があり、10月と11月に表彰を行い、福岡銀行八女支店及び伝統工芸館に展示し、一般に公開した。

(2) 全国女性フォーラム

税制に関する調査研究や租税教室・絵はがきコンクールの実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、9月18日に北海道札幌市で開催された大会に女性部会の正副部会長3名が参加した。

(3) 成人式での税に関する小冊子の配布

八女税務署管内で開催される成人式会場にて、納税意識の高揚を図ることを目的として、新成人全員に税に関する小冊子720部を無償で配布した。

(4) ホームページ及び広報誌による税情報の提供

税に対する関心を高めることを目的として、ホームページを随時更新するとともに、広報誌「矢部川だより」66号と67号を9月と2月に発行し、税に関する情報記事を掲載し、会員配布のみならず銀行等の公共機関に設置、配布した。また、各税務研修会開催案内を随時ホームページに掲載し、会員及び非会員の参加を呼びかけた。

(5) 図書配布による税情報の提供

公益財団法人全国法人会総連合発行の「ほうじん」（季刊誌）や税に関する図書を会員及び非会員に随時配布し、税情報の提供に努めた。ホームページで非会員への書籍頒布を周知している。

③税制の調査研究及び提言に関する事業

(1) 全国税制改正要望大会

税制に関する意見要望を税制委員会が中心となって取りまとめ、10月16日に高知県高知市で開催された全国税制改正要望大会に提出した。当会からは不参加だった。

(2) 税制改正の提言・要望活動

公益財団法人全国法人会総連合によってまとめられた税制改正要望書を、12月16日に税制委員が蓑原悠太朗八女市長、橋本正敏八女市議会議長に提出し、税制・税務に関する提言を行うとともに、ホームページや広報誌を通じて一般に周知した。

④地域企業の健全な発展に貢献することを目的とする事業

(1) 新社会人マナーセミナー

新規採用された職員を対象に、社会人として必要な能力を身につけさせることを目的として、4月18日に八女商工会館で開催した。講師は接遇トレーナーの久保京子氏に依頼した。

(2) パソコン講座

パワーポイントの基本操作を学びながら、実際にチラシを作成し、単なる操作方法だけでなく情報を整理し見やすく・魅力的に伝えるための工夫を学ぶことを目的として、1月14日から2月18日の全5回でパワーポイントパソコン講座を筑後市のパソコンスクールPCワークスで開催した。

(3) 簿記講座

簿記の知識を身につけ、経営力を高めることを目的として、八女商工会議所と共催で、八女商工会館で開催した。10月1日から11月14日の週3回全18回コースで、講師は福岡県立大牟田北高等学校教諭の猿渡満徳氏に依頼した。

(4) フラワーアレンジメント講座

職場環境や生活環境の美化を目的として、12月26日に正月用花の講座を八女商工会館で開催した。講師はグリーン八女の江渕康枝氏に依頼した。

(5) 視察研修会

企業を視察し、自社の経営に活かすことを目的として、12月2日に開催した。大宰府天満宮に参拝後、西日本鉄道㈱のザ・レールキッチンチクゴに乗車し筑後地方の伝統工芸や地域連携の理念を聞き体験しながら大牟田駅まで行き、その後、万田坑を見学した。併せて「税制クイズ」（八女税務署作成）を実施した。

(6) 定時総会講演会

経営に関する有意義な学びを得る場を提供することを目的として、6月10日に元衆議院議員の杉村太蔵氏を講師に「トランプ新政権と日本の未来」というテーマで、おりなす八女で開催した。

(7) リスクマネジメントセミナー

企業が取るべきリスク対策やポイントを押さえることを目的として、就業規則をベースに現代型労務問題について対応や予防方法を学ぶことを目的とし、福岡県内18単位会とAIG損害保険株式会社との共催で春と秋に（4月～11月）福岡市と久留米市・北九州市で開催した。

(8) その他の研修会

新しい知識を身につけ、自社の経営に活かすことを目的として、9月10日に「伝筆講座」を開催した。講師は吉田邦子氏に依頼した。

⑤ 地域社会に貢献することを目的とする事業

(1) 献血活動

広く一般に呼びかけ、福岡県赤十字センターに協力することを目的として、八女ライオンズクラブ・黒木ライオンズクラブ・福岡県生コンクリート工業組合青年部との共催で、ゆめタウン八女（4月10日、11月6日の2回）、黒木町ふじの里（7月18日、11月14日、3月18日の3回）でそれぞれ開催した。

(2) 医療健康セミナー

からだに優しい発酵食品を知ろうをテーマに、11月13日に「手作りみそ教室」を開催した。講師は福岡市の株式会社田島屋味噌醸造元に依頼した。

(3) 地域のイベント参画

飲酒運転撲滅キャンペーンを目的として、9月20日に酒販組合八女支部と共催して八女市の祭会場で女性部会員が中心となってティッシュとうちわの配布をした。

⑥会員の福利厚生のための事業

(1) 経営者大型保障制度の普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合の経営者大型保障制度の普及推進を図った。

(2) ビジネスガードの普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のビジネスガードの普及推進を図った。

(3) がん保険制度の普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のがん保険の普及推進を図った。

(4) 貸倒保障制度の普及推進

会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、一般社団法人福岡県法人会連合会の貸倒保障制度の普及推進を図った。

⑦会員の交流を図るための事業

(1) 役員・委員会等懇談会

会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、役員及び委員会等の懇談会を随時実施した。

(2) 青年部会・女性部会懇談会

部会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、企業視察研修会や新年会、懇談会を企画し、開催した。

⑧その他この法人の目的達成に必要な事業

(1) 会員拡大

組織の健全な維持と財政基盤の再構築を図るため、11月に支部会議を開催し、会員増強に取り組んだ。

2025年度末 会員数・異動状況

会員数	704社
入会数	11社
退会数	25社

2025年度末 青年部会・女性部会 部会員数

青年部会員数	41名	女性部会員数	50名
入会数	1名	入会数	1名
退会数	1名	退会数	3名
卒業生	1名		

(2) この法人の認知度の向上

あらゆる機会を利用してこの法人の認知度向上に努めた。